

# CASBEE® 名古屋

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-運用評価(2019年版)、名古屋中規模建築物環境総合評価マニュアル(2016) 使用評価ソフト: CASBEE\_Nagoya\_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)エディオン高針店 新築工事	階数	地上2F
建設地	名古屋市名東区高針原二丁目1601番、1602番、1603番、1603番1、1603番2、1604番、1606番、1607番、1608番	構造	S造
用途地域	準住居、第1種住居地域、準防火地域	平均居住人員	300人
地域区分	6地域	年間使用時間	4,320時間/年(想定値)
建物用途	物販店、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年10月 予定	評価の実施日	2021年1月13日
敷地面積	4,922㎡	作成者	
建築面積	3,207㎡	確認日	2021年1月13日
延床面積	6,074㎡	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**= BEE0.7** ★★★★★

★: S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO2(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆ 100%超 ☆☆☆☆☆ 100% ☆☆☆☆☆ 80% ☆☆☆☆☆ 60% ☆☆☆☆☆ 30%

標準計算

①参照値	138	100%
②建築物の取組み	46	85%
③上記+②以外の	92	85%
④上記+	184	85%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO2排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 2.6

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.8

音環境	1.7
熱環境	2.6
光・視環境	2.9
空気質環境	3.7

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

機能性	2.6
耐用性	2.7
対応性	3.6

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.9

生物環境	1.0
まちなみ	3.0
地域性・	1.5

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 2.8

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.6

建物外皮の	N.A.
自然エネ	3.0
設備システ	2.9
効率的	2.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

水資源	3.0
非再生材料の	2.6
汚染物質	3.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

地球温暖化	3.5
地域環境	3.0
周辺環境	3.0

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b>	敷地外周部に植栽を配置し、また、シンプルな外観とすることで周辺環境への配慮を図りつつ、屋上緑化、LED照明等の省エネ性能向上を図る設備機器の採用により、LCCO2の排出率を抑える計画とした。	その他
<b>Q1 室内環境</b>	室内環境の快適性を考慮した空調設備計画と照明設備計画とした。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 敷地境界沿いの緑化により、周辺環境への圧迫感等を考慮した計画とした。
<b>LR1 エネルギー</b>	効率的な設備機器(LED照明等)の選定により省エネを図る計画とした。	<b>LR3 敷地外環境</b> 建物の省エネ性能を高めて、ライフサイクルCO2排出率を抑えた計画とした。
<b>Q2 サービス性能</b>	階高をゆとりのある高さとし、室内の快適性と室内環境の向上を図りつつ、壁長さ比率を小さく抑え、空間の自由度を高めた計画とした。	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>	躯体と仕上げ材が容易に分別可能な計画とした。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO2」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

### 重点項目スコア・結果シート

(仮称)エディオン高針店 新築工事

■使用評価マニュアル:



CASBEE-建築(新築)2016年版、名古屋市建築物環境配慮制度運用マニュアル

■評価ソフト:

CASBEE\_Nagoya\_2016(v3.0)

重点項目		評価	全体に対する重み係数	重点項目スコア
1. 温暖化対策				2.9
LR1	エネルギー	2.7	0.4	
LR3.1	地球温暖化への配慮	3.5	0.1	
LR3.2.2	温熱環境悪化の改善	3.0	0.05	
2. 自然共生				1.3
Q3.1	生物環境の保全と創出	1.0	0.091235484	
Q3.3.1	地域性への配慮、快適性の向上	地域性のある材料の使用※1	無	0.009123548
Q3.2	まちなみ・景観への配慮			
Q3.3.2	敷地内温熱環境の向上	2.0	0.045617742	
3. 循環型社会				2.7
LR2.1	水資源保護	3.0	0.06	
LR2.2	非再生性資源の使用量削減	2.6	0.18	
LR3.2.3	地域インフラへの負荷抑制 ※2	3.0	0.01875	

### 結果

1. 温暖化対策	評価点 = 2.9	
2. 自然共生	評価点 = 1.3	
3. 循環型社会	評価点 = 2.7	

重点項目のスコアは以下のように算出している。

$$\text{重点項目スコア} = \frac{(\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}) \text{の総和}}{\text{全体に対する重みの総和}}$$

※1 ここでは、Q3.3.1の評価する取組みのうち評価項目 1) 2) 地域性のある材料の使用 又は、Q3.2において評価する取組みのうち評価項目 4) 地域性のある素材による良好な景観形成 のいずれかでポイントがある場合は「有」、ない場合は「無」を評価とした。重点項目スコアの算出における評価点は評価「有」の場合は5、「無」の場合は1とし、重みはQ3.3.1の全体に対する重みに0.2を乗じたものとしている。

※2 ここでは、LR3.2.3のうち、LR3.2.3.3 交通負荷抑制 を除いたもので評価点及び全体に対する重み係数を算出している。したがって、ここでの評価点はスコアシートにおけるLR3.2.3の評価点とは異なるものである。